

## ■話題の秀作映画(9作品)

・優れた作品を上映することで、映画への親しみと地域資源の発見、創作活動のきっかけを創ります!!

### □ホタル <114分/2001年/日本/東映>

\*エコーホール【11/7】①18:25

□監督:降旗康男

出演:高倉健 田中裕子 夏八木勲 原田龍二 水橋貴己 小林綾子 中井貴一 奈良岡朋子 ほか

ゲスト:監督・降旗康男

□「鉄道員(ぼっぼや)」の降旗康男監督と高倉健が再タッグを組んだ人間ドラマ。東映創立50周年記念作品。

特攻隊の生き残りである漁師が昭和の終焉に直面。不治の病に侵された妻とともにある“旅”に出ることを決意する。第25回日本アカデミー賞で13部門ノミネート。

舞台は昭和の終わり——鹿児島・海潟漁港。漁師・山岡と妻の知子は子供を持たなかったが40数年、お互いを支え合い、漁師仲間に信頼され、静かな暮らしを続けていた。二人は昭和20年大戦末期、死線を越えてめぐり合った。

山岡は生き残った特攻兵として、知子は沖縄の海に散っていった朝鮮人の特攻、金山少尉の許婚として。共に生きることを選んで漁師として歩んできた幾歳月。そして、平成に変わった頃、肝臓を患って透析を受けていた知子がこのままでは余命幾ばくもないと知らされる。戦中戦後を共に同じ想いを胸に秘めて生きてきたかけがえのない親友の自死。特攻の母と呼ばれた富子の増すばかりの苦しみと老い。山岡に、何ができるのか……。



© 2001年「ホタル」製作委員会

### ●始まりも終わりもない <95分/2013年/日本/マジックアワー>

\*エコーホール【11/8】①11:30 【11/9】①15:40

●監督:脚本:伊藤俊也

出演:田中泯 石原淋 首くくり袴象 牧口元美 田村泰二郎 吉澤健 ほか

ゲスト:監督・伊藤俊也

●孤高の舞踏家と奇才映画監督がスクリーンに刻み込む空前絶後の“映像詩”

劇映画でありながらセリフはほとんどなく、田中の舞と伊藤監督のアバンギャルドな映像で「人間の存在」に迫る。

人間は生まれて来て死ぬ。しかし、誕生が始まりであり死が終わりであるか。客観的に見ればそうかもしれない。しかし、当の本人つまり人間自身にとっては、誕生の時も死の時も認知することができない。そう見ると、人間はこの世(界)に<投げ出されている>だけではないだろうか。<投げ出され、そこに在る>だけでないだろうか。<始まりも終わりもない>のだ。

10万人以上の死者を出した東京大空襲の日に生を受けた田中泯。彼の人生や伊藤俊也監督自らの戦争体験と重ね合わせた圧迫的なイメージからなる“人間の死”を【木、火、土、金、水】をモチーフに、劇映画でありながら、全編ほとんどセリフによらず田中泯の身体表現だけで、哲学的、詩的に人間の一生をつづった前人未踏の作品が誕生した。



【場面写真】© 2013 ITO PLANET CO.LTD /【ポスタービジュアル/特典PC等 平間至宣材写真】© Itaru Hirama

### ▲飛べ!ダコタ <109分/2013年/日本/アステア>

\*エコーホール【11/8】①15:35 【11/9】①11:15

▲監督:油谷誠至 音楽:宇崎竜童

出演:比嘉愛未 窪田正孝 柄本明 洞口依子 中村久美 芳本美代子 ほか

ゲスト:監督・油谷誠至

▲終戦から5カ月。佐渡の地に舞い降りた一機の英国機が運んだものは——。

67年の時を経て今蘇る戦争と国境を越えた感動の実話。

痛みを共有した現代人にこそ響く、“真実の人間愛”の物語

昭和21年(1946年)1月14日——終戦から、わずか5ヶ月後のその日、鉛色の空を切り裂いて、一機の飛行機が佐渡島にある高千村の海岸に不時着した。それはイギリス軍の要人機<ダコタ>であった。

真っ先に駆けつけたのは、海を見渡せる丘の上から、その光景を目にしていた藤本千代子だった。<ダコタ>から降り立ったイギリス兵の身を案じて近づいていくと、警戒した兵士が銃に手を掛けた。そこへ、千代子の父親である村長の新太郎と、消防団長の高橋、国民学校の浜中校長たち、村の有力者が駆けつけてきた。向こう見ずな千代子を叱り飛ばして手を振り上げた新太郎を、イギリス兵が止めに入った。どうやら、敵意はなさそうだ。新太郎は通訳代わりに連れてきた大学講師の石川を介して、事の次第を聞き出した。

機長のブラッドリー少佐以下、イギリス軍のパイロットたちは、上海の英国総領事を東京まで送る途中で悪天候に見舞われ、やむなく不時着したのだという。ダコタの修理を終えるまでは、この地に止まらざるを得なくなったのだ——。



©「飛べ!ダコタ」製作委員会